

令和2年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会 会議録

- 1 会議名 令和2年度木更津市社会教育委員会議第1回定例会（書面会議）
- 2 出席者名
委員：鉢村美幸、平田和世、森廣賢一、安藤順子、富田浩、中村みどり、城戸富貴、鶴岡俊之、吉田裕子、橋本ミチ子、伊藤素子、地曳昭裕、内田慎一郎、石村比呂美、熊本秀樹、白石和義（16名）
- 3 諮問 令和2年度木更津市教育振興事業補助金（社会教育振興事業）の交付について
結果：賛成16名、反対0名
- 4 協議事項
(1) 各委員の選出について 結果：賛成16名、反対0名
- 5 資料
令和2年度社会教育委員会議第1回定例会次第
令和2年度社会教育委員会議第1回定例会資料
(1) 令和2年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策
(2) 各課・機関からの概要説明資料（生涯学習課・文化課・まなび支援センター・図書館郷土博物館金のすず・公民館・スポーツ振興課）

各委員からのご意見

（概ねいただいたご意見の表記どおり記載しておりますが、一部要旨をまとめさせていただいたものがございます。ご了承ください。）

鉢村美幸委員

- (1) 「木更津市教育振興事業補助金」について
 - ・本年度の地域活動費について、新型コロナウイルスの影響で計画変更或いは中止となった場合は小中学生の在宅学習機器の整備や食事に困っている家庭や高齢者の方たちのための「街かど食堂」「みんなのお弁当」等のサービス予算に回していくのはどうか。また、これを契機に事業のあり方を再確認することも大事ではないか。
- (2) 「各事業」について（資料）
 - ・誰でも気軽に楽しめ、生活を豊かにするような公民館運営
 - ・貴重な歴史的施設の整備・PR。中心市街地での街角コンサート、アートコーナーの設置。
 - ・「きさらづ出前講座事業」素晴らしい企画だと思います。団体向けの出前講座だけでなく、一般入場制企画も催し、多くの方に学び場を提供していただきたいと思います。もっとPRもしたほうが良いと思います。

- ・「5今後の方向性」の中にもありますが、放課後児童クラブとの連携やスタッフの確保が必要ではないでしょうか。また「東清小」は「南清小」と統合計画ではなかったでしょうか。
- ・実行主体である「各地区住民会議」の方たちにもっと詳しくお話をお聞きしたいです。素晴らしい取り組みであると思います。
- ・「放課後子ども教室」や「生き生き子ども地域活動」にユースボランティアは欠かせない存在です。現在の構成や応募状況、課題等について詳しく知りたいです。

森廣賢一委員

- ・青少年健全育成を考えたとき、夏休み、冬休み返上、土曜授業などで教育現場の遅れを取り戻さなければいけないことが想像つく現状を踏まえ、子どもたちとの活動の難しさや、活動そのものが子どもたちの負担にならないように配慮しなければいけない。
- ・複合施設の話し合いをしてきたが、このような密状態をなくす取り組み状況下で、複合施設であることで、施設使用禁止になりうる事も再度検討する必要がある。

安藤順子委員

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症を起因として、今までに経験したことのない時世となって、これまで以上に地域でできること、底力のようなものが必要とされていると思う。そのような観点を踏まえた社会教育関連活動を私も心掛けたい。

中村みどり委員

- ・「木更津市教育振興事業補助金」について
新型コロナウイルスの影響により、予定していた事業が中止になった場合補助金の一部を子育て援助などに有効に活用できないか。

鶴岡俊之委員

- ・「Ⅱ社会教育の推進」について
1（2）社会教育振興のための支援体制の充実の①にある職員の力量形成の向上に努めることは市民の生涯学習の充実を図る上で重要だと思います。
さらには、地域におけるその役割が重要視されている「社会教育主事」の養成・配置の充実が大切だと思いますが、いかがでしょうか。現実問題として、資格条件や約40日間の講習の受講がネックとなっているのであれば、それに準じた職員（地域における人づくり絆づくりを進められる職員）を育成するような体制はあるのでしょうか。

伊藤素子委員

- （1）「図書館」について
・金田地区で未就学世代が増加していることから、分館利用者が多い状況になっているとみてよいでしょうか。この世代から本好きになることが非常に大切。ぜひ蔵書数の増加、内容の充実も実行されてほしい。

- ・新型コロナウイルスの状況によるが、図書館閉鎖中でも予約のみの貸出対応の復活をお願いしたい。子どもの休校時、本を読む時間を大いに与えたい。

(2)「木更津市教育振興事業補助金」について

- ・自粛中、補助金が余れば必要なところへ使われるようになることを確認しておきたいです。

地曳昭裕委員

- ・一言で表すならば、新鮮味のない重点目標、主要事業です。社会教育はウイングが広く、各々の分野で基本・基礎となるものを毎年踏襲しなければならないので、このような書式となるのでしょうか、小生の読解力不足もあるのでしょうか、目を引くものが感じられませんでした。
- ・図書館がここ2～3年、子ども・幼児にブックスタート等の取り組みがみられます。このような特色がはっきり示される取り組みが他の分野でも一つでもよいので、あるとワクワクします。事業は、ワクワクだけでは完遂しないのですが、人を引き付ける事業の模索を期待します。
- ・公民館利用者の年齢も高くなり（小生が社会教育委員就任時には会議で必ず青年の利用増を訴えていた）、いよいよまちづくりの人材の発見、継承が重要な局面となってきました。残念ながらまだ「検討」の段階です。検討と表記するのであれば、その後の計画をある程度見越してのものであると信じたいのですが、文末に触れている程度ですので、あまり期待はできないでしょう。（発奮を促しているのです）とにもかくにも、この新型コロナウイルス禍で対面して会議が開催できないので、それが一番悔しい限りです。

白石和義委員

- ・「木更津市教育振興事業団体について」
メイン行事について社会教育委員の参加
- ・「新型コロナウイルスの影響について」
イベント開催中止の状況、代替え案の有無、家庭での過ごし方のメリット・デメリットの把握。

事務局からの回答

質問

団体の事業が中止になった場合、その分の経費を他の必要なところへ充てることはできないか。

回答(生涯学習課)

補助金につきましては、当該団体の事業が中止・縮小され、執行残が出る場合には、市に返金いただくこととなりますので、結果として市の財源全体として新型コロナ対策で新たに必要とされる経費に反映されることはあるものと考えております。

質問

社会教育主事に準じた職員の育成体制があるか。

回答(生涯学習課)

公民館職員に対する研修の機会がありますが、「社会教育主事に準じた職員の育成体制」としての特別な取り組みはございません。しかし、市民の学習活動を側面から支えるための職員の育成、力量形成は大きな課題であることは認識しております。今後の社会教育委員会議でもご協議いただければと思います。

質問

金田地区で未就学世代が増加していることから、分館利用者が多い状況になっているとみてよいか。

回答（図書館）

昨年度の金田地域交流センター・図書コーナーの全貸出冊数 7,384 冊の内、4,027 冊は児童書でした。お見込みのとおり、利用者は子育て世代と未就学児の利用が多い状況です。

その他のご意見につきましては、今後の定例会での協議内容に反映してまいります。多くのご意見をいただきありがとうございました。